

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	スーパーe エンタテインメント科 (昼間Ⅰ部)	夜・通信	12240 時間	320 時間	
	スーパーe エンタテインメント科 (昼間Ⅱ部)	夜・通信	12240 時間	320 時間	
	カレッジ音楽科	夜・通信	5910 時間	240 時間	
	商業音楽科	夜・通信	3300 時間	160 時間	
	プロミュージシャン科	夜・通信	4230 時間	160 時間	
	キャリアプログラム科	夜・通信	1080 時間	90 時間	
	音楽ビジネス研究科	夜・通信	960 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.osm.ac.jp/school/public_info/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.osm.ac.jp/school/public_info/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人 理事 (H27. 12. 1~R2. 8. 24)	R3. 6. 1 ~ R6. 5. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員 (H24. 4. 17~)	R3. 6. 1 ~ R6. 5. 31	経営分析
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、学校ホームページにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 全学科、A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価(不合格)とする。 出席評価、授業態度評価(座学・実技での取り組み態度)、筆記試験、実技試験、レポートをシラバスに定める評価方法にて評価する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格</p> <p>上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.osm.ac.jp/school/public_info/osm_gpa_grade.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。 卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。 1. 各年次900時間以上を修得した者は、進級することができる 2. 各年次900時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業することができる。 3. 上記1及び2に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。 上記を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。 卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。 ・卒業年度の3月31日を超え、卒業単位未修得による卒業保留の場合、同年4月1日からの次年度において、8月31日までに卒業認定されない場合は、入学年の3月31日付で除籍となる。 なお、同年4月1日以降は規定の在学期間を超えるため、学生としての身分はなく、よって学生証は発行されない。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.osm.ac.jp/school/public_info/public_info_pdf/02/2_judgment_criteria.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/4_2osm2021.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/4_2osm2021.pdf
財産目録	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/4_2osm2021.pdf
事業報告書	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/4_2osm2021.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/4_2osm2021.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スーパーeエンターテインメント科	-	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間 I部	3600 単位時間	360 単位 時間	3240 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		37人	0人	5人	9人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。

卒業・進級の認定基準 (概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等 (概要) スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人	0人	0人	0人
(主な就職、業界等) ※2020年4月新設学科のため卒業生実績なし			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 2020年4月学科設置 完成年度到達前 2024年3月完成到達。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スーパーe エンターテインメント科	-	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間 Ⅱ部	3600 単位時間	360 単位 時間	3240 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		10人	0人	5人	9人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人	0人	0人	0人
（主な就職、業界等）※2020年4月新設学科のため卒業生実績なし			
（就職指導内容）就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) 2020年4月学科設置 完成年度到達前 2024年3月完成到達。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由) ※退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	カレッジ音楽科	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2910 単位時間	240 単位 時間	2670 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
	単位時間						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	89人	9人	5人	9人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点 : S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点 : A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点 : B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点 : C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点 : D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準

(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	3人 (14.3%)	5人 (23.8%)	13人 (61.9%)
(主な就職、業界等) レコーディングスタジオ、作曲家事務所、映像制作会社など			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 作家契約を希望している卒業生は卒業後もデビュー活動中として一時的な仕事に就き活動を行っている。活動については卒業後の支援を行っている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	8人	8.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、病気・治療、学生生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	商業音楽科	○	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1980	270単位時間	1710単位時間	単位時間	単位時間	単位時間

	単位時間			単位時間		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人	233人	7人	6人	10人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
125人 (100%)	4人 (3.2%)	88人 (70.4%)	33人 (26.4%)
（主な就職、業界等）音響会社、照明会社、映像会社、事務所・プロダクションなど			
（就職指導内容）就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）卒業後の就職希望者は決定まで卒後支援を行う。卒業後の転職活動もサポートしている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

275 人	16 人	5.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、病気・治療、学生生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	プロミュージシャン科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2040 単位時間	240 単位 時間	1800 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
	単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		176 人	4 人	4 人	9 人	13 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数	その他

		(自営業を含む。)	
74人 (100%)	8人 (10.8%)	3人 (4.1%)	63人 (85.1%)
(主な就職、業界等) レコード会社、楽器店、音楽業界など			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ヴォーカリストやミュージシャンのプロダクション所属希望の卒業生は卒業後もデビュー活動中として一時的な仕事に就き活動を行っている。活動については卒業後の支援を行っている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169人	10人	5.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、病気・治療、学生生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	キャリアプログラム科	-	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜間	1080 単位時間	120 単位 時間	960 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		16人	0人	1人	8人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法

<p>(概要) 既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点 : S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点 : A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点 : B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点 : C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点 : D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。</p>
学修支援等
<p>(概要) スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	0 人 (0.0%)	1 人 (16.7%)	5 人 (83.3%)
(主な就職、業界等) ダンススタジオ			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 卒業後も支援を行っている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	1 人	10.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	音楽ビジネス研究科	-	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	960 単位時間	0 単位時間	960 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	42人	2人	1人	8人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100%)	23人 (48.9%)	0人 (0.0%)	24人 (51.1%)
(主な就職、業界等) テーマパーク、ヴォーカルグループなどで活動			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) ヴォーカリストやミュージシャンのプロダクション所属希望の卒業生は卒業後もデビュー活動中として一時的な仕事に就き活動を行っている。活動については卒業後の支援を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	1 人	2.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スーパー エンター テインメ ント科	100,000 円	840,000 円	735,800 円	
カレッジ 音楽科	100,000 円	840,000 円	735,800 円	
商業音楽 科	100,000 円	840,000 円	735,800 円	
プロミュ ージシャ ン科	100,000 円	840,000 円	735,800 円	
キャリア プログラ ム科	100,000 円	400,000 円	320,000 円	
音楽ビジ ネス研究 科	100,000 円	200,000 円	192,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、延納、分納措置を行っている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osm.ac.jp/school/public_info/2020_osm_jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 自己点検自己評価を行い、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。(教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守等)		
学校関係者評価の委員		
	所属	任期
	種別	
卒業生代表	2020年4月1日～2022年3月31日 (任期更新)	卒業生
保護者代表	2020年4月1日～2021年3月31日 (任期終了)	保護者
保護者代表	2021年4月1日～2022年3月31日 (新規就任)	保護者
四條畷学園高等学校	2020年4月1日～2022年3月31日 (任期更新)	高等学校関係者
大阪市民生委員 児童委員連盟	2020年4月1日～2022年3月31日 (任期更新)	地域関係者
吉本興業株式会社	2020年4月1日～2022年3月31日 (任期更新)	企業
ヒビノ株式会社	2020年4月1日～2022年3月31日 (任期更新)	企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osm.ac.jp/school/public_info/2020_osm_jikohyouka_shuuyaku.pdf		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osm.ac.jp/ ホームページの記載、学校パンフレット・学生募集要項など郵送

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		120人	110人	126人
内 訳	第Ⅰ区分	76人	72人	
	第Ⅱ区分	22人	25人	
	第Ⅲ区分	22人	13人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				126人

(備考)

①家計急変で申請をしている学生がいましたが2021年1月で最終結果が「不採用」となりましたので数に含めていません。

②転入学生で申請をしている学生がいましたが、2021年3月3日現在でJASSO未反映の為、2021年度分として申請おりますので、数に含めていません。

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	一人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	一人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	一人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	一人	一人
GPA等が下位4分の1	0人	一人	一人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	一人	一人	一人
計	一人	一人	19人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。